

平成26年度 川越工業高等学校 運営経費計算書について

1. 目的

厳しい財政状況の下で、質の高い教育活動を進めていくためには、限られた財源を効果的に活用する必要があります。そのために運営経費計算書はコスト意識をもって学校を運営する上で、財務情報を職員・学校関係者が共有することを目的としています。また、県立学校における教育サービスと負担を公表することで、学校への信頼を高め地域、保護者との連携を進めるものです。

2. 概要

○ 運営経費総額について

- 川越工業高等学校における支出の総額は 約 6億5,362万円 です。
- 支出総額のうち 約 90% は教員や職員の人件費です。
- 人件費以外の経費は 約 6,402 万円 であり、支出総額のうち 約 10% を占めています。
- 人件費を除いた経費のうち、授業や特別活動などに要した経費は 約 36% を占めています。
その他、人件費を除いた経費のうち光熱水費が 約 22% を占めており、さらに施設設備維持管理費が 約 24% を占めています。

○ 生徒一人あたりの経費について

- 生徒一人あたりの経費は全日制で 793,229円 であり、全校平均を100とした場合 127.4 になります。(グラフ1)

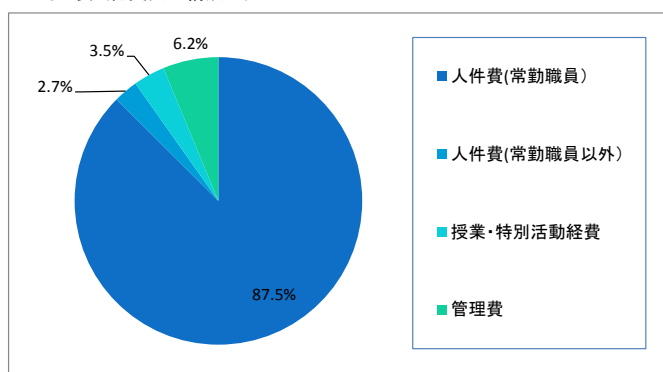
○ 固定資産等について

- また、固定資産等は、土地の評価額と建物の残存価格を合わせて 53億0,100万円 になります。

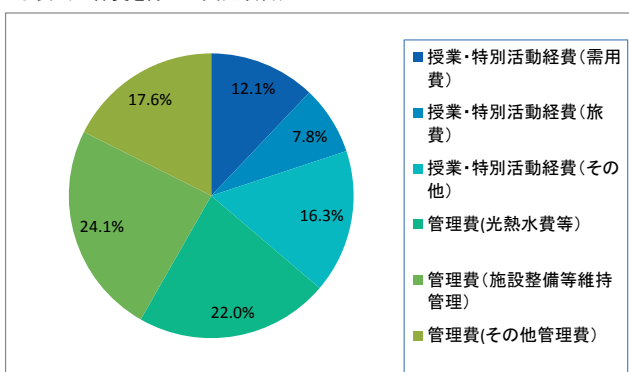
3. 本校の特徴・取り組み

- 工業高校ならではの充実した施設・設備で各専門分野の基礎から応用まで体系的に学習します。
- 地域をはじめ企業やNPO法人などと連携した教育活動を展開し専門性の深化を図ります。
- 部活動や学校行事など全ての教育活動をとらして、忍耐力や人間性を育成します。

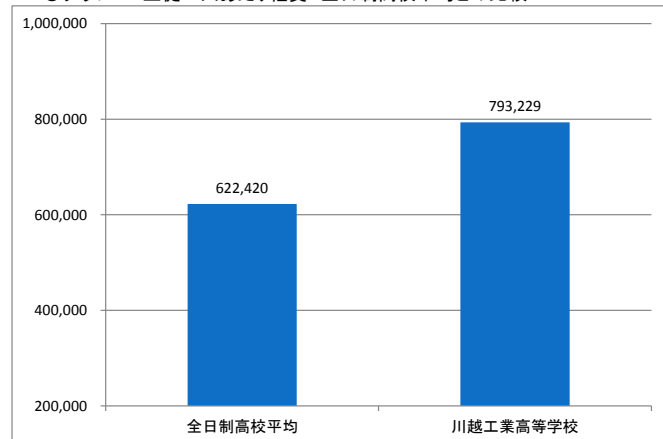
○ 表1(総支出の構成比)



○表2(人件費を除いた支出項目)

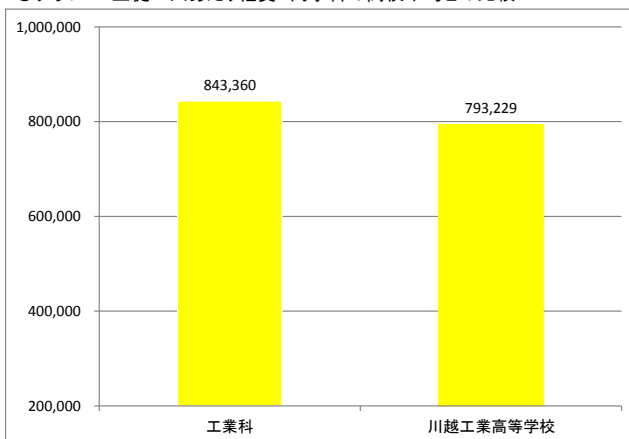


○グラフ1 生徒一人あたり経費 全日制高校平均との比較



※ 全日制高校平均＝全日制高校における学校支出額／全日制高校生徒数

○グラフ2 生徒一人あたり経費 同学科の高校平均との比較



※ 工業科高校平均＝工業科高校における学校支出額／工業科高校生徒数

平成26年度 川越工業高等学校 運営経費計算書(定時制)について

1. 目的

厳しい財政状況の下で、質の高い教育活動を進めていくためには、限られた財源を効果的に活用する必要があります。そのために運営経費計算書はコスト意識をもって学校を運営する上で、財務情報を職員・学校関係者が共有することを目的としています。また、県立学校における教育サービスと負担を公表することで、学校への信頼を高め地域、保護者との連携を進めるものです。

2. 概要

○ 運営経費総額について

- 川越工業高等学校(定時制)における支出の総額は 約 2億8,605万円 です。
- 支出総額のうち 約 90% は教員や職員の人件費です。
- 人件費以外の経費は 約 2,816 万円 であり、支出総額のうち 約 10% を占めています。
- 人件費を除いた経費のうち、授業や特別活動などに要した経費は 約 12% を占めています。
 その他、人件費を除いた経費のうち光熱水費が 約 17% を占めており、さらに施設設備維持管理費が 約 55% を占めています。

○ 生徒一人あたりの経費について

- 生徒一人あたりの経費は定時制で 1,079,418円 であり、全校平均を100とした場合 110.1 になります。(グラフ1)

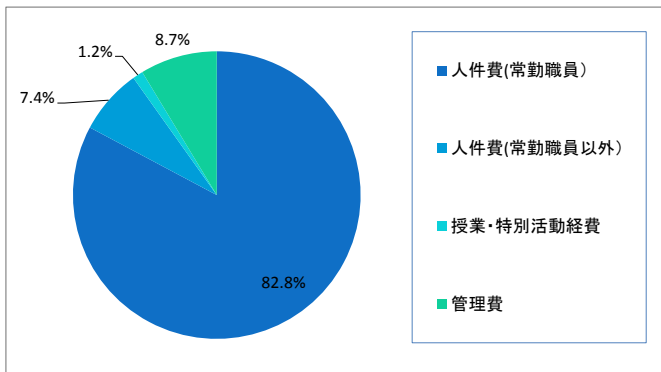
○ 固定資産等について

- また、固定資産等は、土地の評価額と建物の残存価格を合わせて 53億0,100万円 になります。

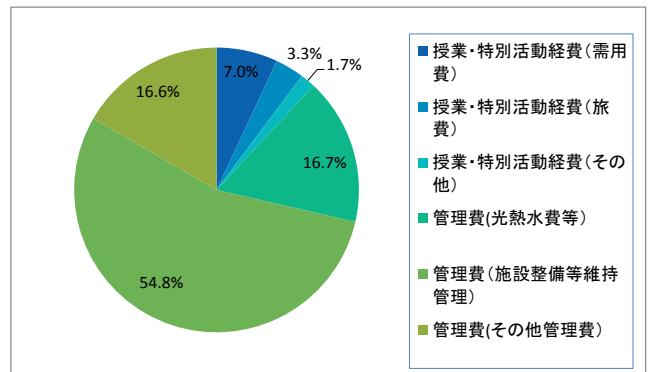
3. 本校の特徴・取り組み

- 普通科と工業技術科(機械類型・電気類型)を設置し、基礎基本から発展まで学ぶ単位制高校です。
- 幅広い年齢層の生徒が在籍し、働きながら資格取得や卒業を目指しています。
- 部活動も盛んで、全国大会へ出場している部活動もたくさんあります。

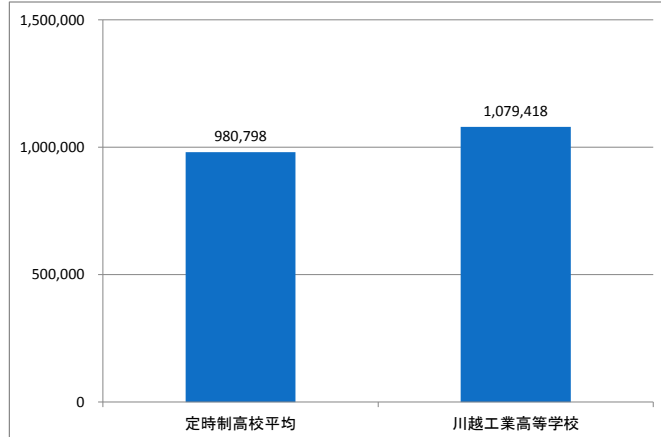
○ 表1(総支出の構成比)



○ 表2(人件費を除いた支出項目)

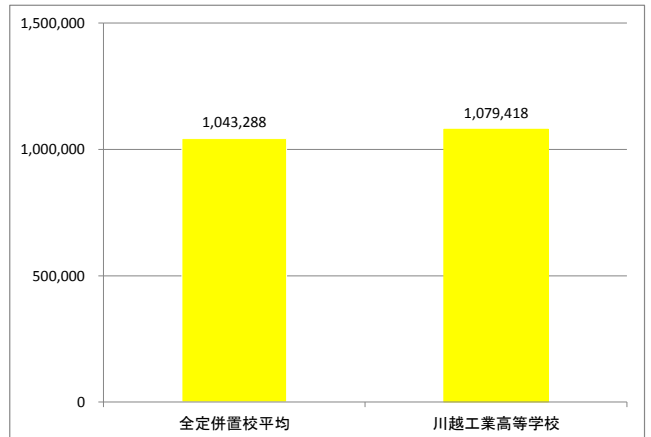


○ グラフ1 生徒一人あたり経費 定時制高校平均との比較



※ 定時制高校平均＝定時制高校における学校支出額／定時制高校生徒数

○ グラフ2 生徒一人あたり経費 全定併置校平均との比較



※ 全定併置校平均＝全定併置校における学校支出額／全定併置校生徒数

平成26年度 川越工業高等学校 運営経費計算書

1 運営経費

(単位: 円)

	分類	全日制課程	定時制課程	通信制課程	合計
収入	授業料・入学料	37,022,823	539,200		37,562,023
	生産物・物品売払い	0	0		0
	行政財産使用料	1,429,780	0		1,429,780
	その他教育活動に係る収入	1,819,604	6,400		1,826,004
	国庫補助金	0	0		0
	計(A)	40,272,207	545,600		40,817,807
支出	人件費(常勤職員)	571,724,494	236,803,357		808,527,851
	(常勤職員以外)	17,879,564	21,084,921		38,964,485
	授業・特別活動経費	23,193,046	3,357,761		26,550,807
	(需用費)	7,738,766	1,960,790		9,699,556
	(旅費)	5,010,413	918,491		5,928,904
	(その他)	10,443,867	478,480		10,922,347
	管理費	40,823,722	24,799,656		65,623,378
	(光熱水費等)	14,094,019	4,699,304		18,793,323
	(施設整備等維持管理)	15,458,593	15,419,170		30,877,763
	(その他管理費)	11,271,110	4,681,182		15,952,292
計(B)	653,620,826	286,045,695		939,666,521	
収支差額		△ 613,348,619	△ 285,500,095		△ 898,848,714

2 生徒数・教職員数等

生徒数(人)		教職員数(人)		常勤職員平均年齢		クラス数		のべ授業実施日数(日)	
全日制	824	全日制	78	全日制	46.1	全日制	21	全日制	196
定時制	265	定時制	33	定時制	42.4	定時制	12	定時制	192
通信制		通信制		通信制		通信制		通信制	
計	1,089	計	111	計		計	33	計	

※生徒数、教職員数、クラス数は平成26年5月1日付け「学校基本調査」による。

※授業実施日数には学校行事実施日も含む

※常勤職員平均年齢は、平成26年5月1日付けの平均年齢。対象は、校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、司書等。

3 固定資産等

(単位: 千円)

敷地面積(m ²)	土地		評価額	
		39,386		4,211,733
建物面積(m ²)	総建築面積		述べ床面積	残存価格
	9,330		23,407	1,089,262

※公有財産システムによる

大規模修繕や建築にかかるもの

(単位: 円)

収入	国庫支出金	0
	県債	21,600,000
	財産売払い収入	0
計(C)		21,600,000
支出	施設整備等維持費	
	建築費	21,979,046
	修繕費	0
計(D)		21,979,046
収支差額		△ 379,046

4 分析指標

(1) 生徒1人当たりの経費 (単位: 円)

	支出総額	人件費を除く支出
高校(全日制)	793,229	77,690
高校(定時制)	1,079,418	106,254
高校(通信制)		
学校全体	862,871	84,641

※支出・・B

(2) 授業日1日当たりの経費 (単位: 円)

	支出総額	人件費を除く支出
高校(全日制)	3,334,800	326,616
高校(定時制)	1,489,821	146,653
高校(通信制)		
学校全体	—	—

※支出・・B

(3) 支出に対する割合 (単位: 円)

	支出に対する収入の割合	支出に対する授業料・入学料の割合
高校(全日制)	6.2%	5.7%
高校(定時制)	0.2%	0.2%
高校(通信制)		
学校全体	4.3%	4.0%

※支出・・B 収入・・A

(4) 支出分類の割合 (単位: 円)

	支出に対する光熱水費の割合	人件費を除く支出に対する光熱水費の割合	支出に対する人件費の割合
高校(全日制)	2.2%	22.0%	90.2%
高校(定時制)	1.6%	16.7%	90.2%
高校(通信制)			
学校全体	2.0%	20.4%	90.2%

※支出・・B

「1 運営経費」について

運営経費	県立学校の経常的な運営費
人件費(常勤職員)	常勤職員にかかる給与、諸手当、期末勤勉手当、退職手当(※)など。
人件費(常勤職員以外)	非常勤職員、スクールカウンセラー報酬や社会保険料等
授業・特別活動経費	学校における授業、学校行事等教育に供した経費
需用費	授業用の消耗品や備品、図書館用図書、生徒へ発行する諸証明書など
旅費	教員の旅費
その他	修学旅行の拝観料、教務にかかる機器使用料など
管理費	学校運営事務に要する経費、学校の施設設備の維持にかかる経費
光熱水費等	電気・ガス・水道などの光熱水費、灯油・重油・軽油などの燃料費
施設整備等維持管理	設備等の修繕、施設関係委託契約、等
その他管理費	事務用消耗品・備品、交際費、事務職員の旅費、学校開放にかかる経費等

※ 退職手当は教育局の運営経費計算書のみ計上してある。

「2 生徒数、教職員数等」について

生徒数	平成26年5月1日に在籍した児童生徒数。
教職員数	平成26年5月1日に在籍した常勤職員数。
常勤職員平均年齢	平成26年5月1日付けの教職員の平均年齢。
クラス数	平成26年5月1日に編成されていた学級数。
授業実施日数	生徒が出席すべき日数。

「3 固定資産等」について

固定資産等データ	平成27年3月31日現在、各学校が保有していた財産の状況。
大規模修繕や建築にかかった経費	各学校の経常的な経費にならない大規模な修繕等。

学科別分類の考え方

農業高校・工業高校・商業高校・普通科等	26年度の在籍数が最も多い学科から判断して分類。
農業高校	いずみ、熊谷農業、杉戸農業、秩父農工
工業高校	浦和工業、大宮工業、春日部工業、川口工業、川越工業、久喜工業、熊谷工業、越谷総合技術、児玉白揚、狭山工業、新座総合技術、三郷技術工業
商業高校	岩槻商業、浦和商業、大宮商業、熊谷商業、狭山経済、所沢商業、羽生実業、深谷商業、皆野、八潮南
普通科等	上記以外の学校